

令和5年度 対市要望懇談会

市P連では、毎年、市に対する要望事項をまとめ提出しています。今年度は、執行部会や代議員会での協議をふまえ、以下の5点を要望事項としました。

1. 教員の増員、加配についての増員を県や国へ要望
2. 特別支援アシスタント、夢づくり講師等市独自の職員の増員
3. 部活動に対する支援
4. タブレットの効果的活用に対する支援
5. 清掃活動の業者依頼

その懇談会が1月22日（月）に行われました。この日、阿部会長をはじめ市P連執行部員総勢4名で、市長室を訪問しました。

はじめに、阿部会長から浅野市長に要望書をお渡ししました。その後の懇談会では、執行部員一人一人が日頃感じている事柄を話しました。

「能登半島地震で被災された方々にお見舞い申し上げるとともに、各務原市域で大規模な地震が起きた際、子ども達やお年寄りに対して迅速な対応が必要」「部活動が地域移行化される中で、特に小規模の中学校にも配慮した支援を」「学校の施設、設備に関わって生徒たちの目線から要望を聞くことも大切」「先生方が子どもや保護者に遠慮がちになっている傾向はないだろうか」など様々な思いが出されました。限られた時間ではありましたが、有意義な懇談会となりました。

